

第8回 平成25年1月16日(水)

第8回の一流塾は、講師に椎名武雄氏(日本アイ・ビー・エム(株) 名誉相談役)及び西川善文氏(㈱三井住友銀行 名誉顧問、元日本郵政(株) 社長)、懇親会の特別ゲストには絹谷幸二氏(日本芸術院会員 洋画家)をお迎えしました。



第1部は、『経営の永続性』と題して椎名氏が講義を行いました。米国でも数少ない創業以来100年以上にわたり事業を継続しているIBMについてその歴史やご自身の実体験も踏まえて分析され、会社を永続させるためには、守るべきものはほとんど守り、変えるものは大胆に変えなければならないとの持論をご披露頂きました。また、少子高齢化等いろいろな問題に直面している日本について、今こそ日本の新しいビジネスモデルを作り、身なりに合った新しい日本を作っていかなければならない、と檄を飛ばしました。講義後の質疑応答でも活発な質疑が行われ、塾生からは、「長い経験に裏打ちされたお言葉に重みがあった」、「本当の意味での“グローバル”の意義について大変感銘を受けた」等の声がありました。



第2部では、『経営者の在り方—バンカーの経験を踏まえて—』と題し西川氏が講義を行いました。氏は、リーダーシップの意義や経営トップの果たすべき役割について述べられるとともに、経営者に求められる資質として4点(①忍耐力(ストレスへの耐性)、②会社の実態(特に弱点)を計数で把握する能力、③私心を排し部下に公平、④先見性)を挙げ、「経営者は現場経験と努力で磨かれる」等、ご自身の経験を踏まえたお話をご披露頂きました。また、住友グループの事業精神や氏が尊敬する住友グループの中興の祖と言われる伊庭貞剛氏にまつわるエピソード等もご披露頂きました。講義後はたくさんの質疑応答が活発に行われ、「社員の士気をどう上げていくか改めて気づかされた」「創造とは“遊ぶこと”と“狂うこと”という言葉が印象的だった」等の声がありました。

講義後の懇親会では、冒頭、塾特別顧問の福川伸次氏に乾杯のご挨拶を頂いた後、特別ゲストの絹谷幸二氏から『芸術と経済』と題し、芸術家ならではの切り口で宗教や文化、経済など幅広い分野について触れ、特に芸術の持つ創造性を大切にすることが価値形成にとって重要であることをお話頂き、塾生からはなかなか聞けない非常に興味深いお話で新鮮だった等の声が上がりました。卓話後は各テーブルで講師・ゲストを囲んでの歓談が行われ、絹谷幸二氏のご息女で日本画家の絹谷香菜子氏も歓談の輪に加わって頂き、予定時刻を過ぎるほど会場は大いに盛り上がりました。



懇親会後に塾生有志が塾長を囲んで行われた放談会には、懇親会ゲストの絹谷幸二氏と絹谷香菜子氏にも特別にお越し頂いて最後までご参加頂き、まじめな話からやわらかい話まで様々な話題で一同盛り上がり、深夜近くまで楽しく過ごしました。

